

空容器問題への取り組み

リデュース、リユース、リサイクルの3Rにリフューズを加えた4Rに取り組んでいます。

空容器問題への取り組み


空容器の発生回避に向けて

一般家庭から出るごみの約6割(容積比)は、容器包装が占めています。

宝酒造ではこの空容器の問題に対処するため、リデュース(Reduce:減量化)、リユース(Reuse:再使用)、リサイクル(Recycle:再資源化)の3Rにリフューズ(Refuse:発生回避)を加えた4Rの取り組みを進めています。

リフューズとは、余分なものを買わずに必要な物だけを買うことにより、ごみを減らす活動です。「はかり売り」は、容器を購入せず必要な分だけ中身を買うという意味でリフューズにあたります。

 G: 環境に配慮した容器・包装

 7: 720mlリターナブルびんの推移

焼酎のはかり売りの展開

宝酒造独自の活動として、焼酎のはかり売りを展開しています。

焼酎のはかり売りでは、当社の工場で1klや200lの専用タンクに焼酎を充填し販売店に直送します。お客様は家庭にあるPETボトルなどの空容器を販売店に持参し、専用タンクから必要な分だけ容器に詰めて購入します。

「はかり売り」は、資源の節約や廃棄物の削減を実現するために人手を使う販売手法であり、消費者、販売店、メーカーの信頼関係をベースにお互いが協働することで成り立っています。

現在は全国で約140店舗にご協力いただき、1998年の開始以来2017年3月までに、2.7lPETボトル換算で約866万本、段ボール約217万枚を節約することができました。

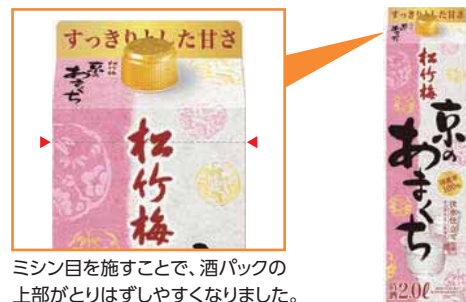


環境配慮型商品の開発

宝酒造では、「環境に配慮した商品開発のための指針」や「環境配慮型商品開発に関する手順書」を作成し、資材調達や商品開発においてISO14001の環境目標を設けて、容器の3R(リデュース、リユース、リサイクル)に配慮した商品開発を継続的に進めています。

2016年度は、松竹梅「京のあまくち」の紙パック容器に新しい紙パック容器「EP-PAKオルカット」を採用するなど、計5件の環境配慮型商品の開発や改良を行いました。

「EP-PAKオルカット」を採用することで、お酒を飲んだ後の紙パックの解体がしやすくなりました。



 8: 環境に配慮した商品開発のための指針

 9: グリーン調達・4Rガイドライン

容器包装に関する環境賞を受賞

松竹梅「天」エコパウチが「容器包装簡素化大賞2017」で「特別賞」を、松竹梅「京のあまくち」2L紙パックが「2017 JPC(ジャパンパッケージコンペティション)」を受賞しました。

「容器包装簡素化大賞」とは、ごみ減量・資源の節約・エネルギーの削減につながるエコ包装(容器包装の簡素化)を実践している商品を表彰するものです。松竹梅「天」エコパウチは、本体・キャップともプラスチック資材で分別の必要性が無く、また、小さく丸めて回収(リサイクル)に出せるようにした点が高く評価されました。

「JPC(ジャパンパッケージコンペティション)」は、商品化され販売されたパッケージの優秀性を競うもので、松竹梅「京のあまくち」2L紙パックは、消費後の紙パックの解体が容易になった点が高く評価され、受賞に至りました。